



# 学校だより

[学校教育目標] かしこく 美しく たくましく

平成30年度11月号  
平成30年11月1日  
さいたま市立大谷口中学校

## 「自分を知って、自分に勝つ」

校長 柳澤 登紀男

人のことを知っている人は頭がいいけれど、自分のことを知っている人には知恵がある。  
人に勝つ人には力があるけれど、自分に勝つ人は、ほんとうの強さを持っている。

People who understand others may be clever, but people who understand themselves are wise.

People who conquer others may be powerful, but people who can conquer themselves have genuine strength.

「くまのプーさん 心がふっと ラクになる言葉 『老子』『莊子』が教えてくれる人生で大切なこと」(PHP文庫)より

先月の市中学校新人体育大会では、男子バスケットボール部優勝、野球部第3位をはじめ、輝かしい成績を収めました(詳しくは別記事をご覧ください)。10月23日実施の市中学校駅伝競走大会では、代表選手が共に練習したメンバーや支えてくれた多くの人の思いを胸に襷をつなぎ素晴らしい走りを見せ、男子は第9位に入賞。また、読書感想文コンクール、発明創意くふう展入賞など文化面でも大谷口中生の活躍が光りました。10月18日に実施した合唱コンクールでは、学年・クラス発表共にすばらしい歌声が文化センターのホール一杯に響き、心をつなぐ感動が生まれました。特に3年生の気迫に満ちた歌声は聴く人の心に迫るものがありました。ご多用の中、様々な行事を支えてくださったPTA役員の皆様、温かく見守っていただいた地域の皆様に厚く御礼申し上げます、また、日頃、部活動の大会等も含めた様々な活動への保護者の皆様のご支援・ご協力に深く感謝いたします。

さて、校長室前に、誰にでも気軽に読んでもらえるように、数冊ですが、本を置かせてもらいました。「ほっとする一冊」、「元気の出る一冊」と名前を付けました。その一冊の中から、ふと目に止まり、私自身が元気をもらった言葉を紹介します。原文は、古代中国の思想家が考えをまとめた『老子』第三十三章の一部です。「知人者智、自知者明。勝人者有力、自勝者強。(人を知る者は智なり、自ら知る者は明なり。人に勝つ者は力有り、自ら勝つ者は強し。)」と著されています。

「自分に負けるな!」・・・言葉で言うのは簡単ですが、そう簡単なことではありません。私も中学・高校時代、先生や部活の先輩によく言われました。少し大人になってからは、自分で自分に言い聞かせることが多くなりました。大きな課題に直面した時、とてつもないプレッシャーを感じる時、気持ちが後ろ向きになっている時(現在も少なからずあります)に、自分自身を奮い立たせませんが、上手くいく時ばかりではありません。「まだまだ『ほんとうの強さ』をもった人ではないな・・・」と未熟さを実感しています。「自分に負けた」苦い経験は数えきれないほどあります。ほんの一握りですが、最後まで自分を見失わず、うまく課題を解決できたこともあります。今振り返ってみると、辛かったことや大きなプレッシャー、緊急事態など、精神的にもかなりぎりぎりの状況では必ず「自分自身が問われる」ということを、経験として学べたのはとても貴重です。「負ける」時は、言い訳を考えている時、他人や他のことに責任を転嫁している時、失敗を恐れるがあまり弱気になってしまう時、少しでも楽な方法がないかと安直な道を選んでいる時、自分をうまくコントロールできない時、だったのではないかとおぼろげに見えてきました。

多感な思春期を経て、子どもは少しずつ「自立」していきます。楽しいことばかりでなく、厳しかったり、辛かったりすることも同時に経験していく中で、自分と向き合い、自分を見つめ、考え、たくましく成長していきます。その子ども達のために、私達大人は何をすべきでしょうか?様々な経験を重ねる環境をつくってあげること、しっかりと見守りながら、苦しんでいる時や失敗した時の支えや弱音の聞き役となること、他にもたくさんありそうです。「転ばぬ先の杖」とばかりに子どもに失敗させまいとこれから歩む道先回りして整えずぎるのも考えものです。大人としてまずすべきことは、子どもの手本として、正々堂々とした「生き方」を示すことであると私自身は考えます。「自立」した大人として恥ずかしくないような生き方、誠実、前向きで潔い生き方を心がけようと思います。

素直で明るく前向きな大谷口中生、自分自身としっかりと向き合い自分を磨く努力を続ければ、より「かしこく」、「たくましく」なることと確信しています。これからも生徒の成長を願っています。

地域の皆様、保護者の皆様には、引き続き、生徒の成長を見守り、支えてくださいますようお願い申し上げます。

